

# (全国古民家再生協会福岡県連合会 会議) 議事録

記録日：2022年10月21日

記録者：山口昇

団体名	一般社団法人全国古民家再生協会福岡県連合会							
開催日時	2022年10月20日(金) 17:00~18:30							
開催場所	おりなす八女 第4研修室 福岡県八女市本町602-1							
出席者	山口昇・井上静夫・川口智廣 緒方貴裕・山城京子・山口ひろみ							
	1, 開会宣言 副会長 井上 静夫 2, 出席者確認 山口 昇 3, 連合会会長挨拶 連合会会長 山口 昇 4, 議題 議題1・2022年度県庁訪問に予定日に関して(継続)  議題2・福岡県地域再生推進法人、事業項目変更(追加)に関して  議題3・シルバー人材センター連合会及び西日本シティ銀行当会冊子(じゃぱとら)配布に関して  5, その他 住まいるフェアの費用に関して 6, 閉会宣言 副会長 井上 静夫							
決定事項	議題1・2022年度県庁訪問予定日(継続) <table border="1"><tr><td></td><td>2022年11月9日(水)</td><td>2022年12月7日(水)</td></tr><tr><td>2023年1月11日(水)</td><td>2023年2月8日(水)</td><td>2023年3月8日(水)</td></tr></table> <p>集合場所：県庁一階ロビー 集合時間：8:50(予定)</p> 議題2・福岡県地域再生推進法人、事業項目変更(追加)に関して ●項目7、古材リデュース事業 空き家古民家を活用する事例では解体され取り出されてまだ使用できる古材を資材として活用する為に古材の調査・点検し消費者へ安心安全な古材を流通させ、廃棄処分される古材から排出される二酸化炭素の排出を減らしSDGsの観点からも当協会が目指す持続可能な循環型建築社会を目標としその為の事業展開を図りたい。 ●項目8、職人育成 古民家を活用する場合手刻みや墨付けなど伝統的な手法が多く用いられるしかし今は技術者不足もあり工場などで材木の加工をしている。古民家の現場では接合部の加工技術などが求められる、今は技術を持つ職人が高齢化し廃業などに伴い激減している為、次世代に日本の住文化である古民家を残す為にも職人育成事業の推進をはかりたい。 このような内容で福岡県に次年度に向けて申請をしたい旨確認した。			2022年11月9日(水)	2022年12月7日(水)	2023年1月11日(水)	2023年2月8日(水)	2023年3月8日(水)
	2022年11月9日(水)	2022年12月7日(水)						
2023年1月11日(水)	2023年2月8日(水)	2023年3月8日(水)						

議題3・福岡県シルバー人材センター連合会及び西日本シティ銀行『じゃぼとら』配布に関して

来年度より協会冊子（じゃぼとら）を福岡県シルバー人材センター連合会及び西日本シティ銀行に配布をおこなっている協会冊子（じゃぼとら）代を福岡県の会員全員（一般・事業者会員・加盟店問わず）から均等に徴収する。

シルバー人材センター、（連合会・各支部）45ヶ所、各1部2冊

西日本シティ銀行、（本部・各支店）137ヶ所、各1部2冊

議題3・その他

・2022年10月2日住まいるフェア費用に関して

担当山城氏より経費の書類を計上し四支部で均等に分割

下記収支報告書

令和 2022年 10月 20日

収支報告書

一般社団法人住教育推進機構福岡支部

収入	項目	金額	備考
	「住まいるフェア」運営費	20,000	5,000円×4支部
	合計	20,000	

支出	項目	金額	備考
	備品追加料金	1,230	パネル部品等
	古民家フォト甲子園パネルレンタル	4,000	第8・9・10回フォト甲子園、第7回再築大賞
	〃 送料	4,530	往復
	住教育テキスト	3,300	30冊
	5市セミナー案内チラシ	6,143	デザインデータ、印刷300枚
	雑費	797	
	合計	20,000	
	差引収支	0円	

・福岡県連合会に係る経費について

来年度より会員数（一般・事業者・加盟店会員問わず）に合わせて費用を捻出し福岡県連合会の及び福岡県関連の活動に関する経費に使用する。

・支部支援金に関して

来年度より本部から四支部に出ている議員連盟の議員に対する支援金を連合会で話し合い活用する旨確認した。

次月開催日時 2023年1月13日（金） 17:00～19:00

次月開催場所 未定  
担当 第三支部

次月議事内容 継続議題等